

セ
ン
タ
ー
通
信

早いもので朝晩はすっかり秋めいてきました。食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋！秋の夜長の虫の声♪に思わず耳を傾けてしまう今日この頃です。先日の台風19号で被害に遭われた方々には一日も早い復興を願っております。

東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉102号室 TEL :0572-26-9721
台風が頻繁に発生しています。そこで今回は**気象と体調**についてまとめてみました。

◆気圧変化で自律神経が活性化◆

昔から、天気と体調には深い関係があることはわかっており、現代の生活習慣によって不調になりやすい体質になったり、局地的大雨(俗にいうゲリラ豪雨)などの極端な気象現象が目立つようになってきたりすることで、年々精神疾患を持つ患者数は増加傾向にあると思われます。「今までなんとなく感じていたあの不調は、天気によるものだったのか！」と自分の症状に気づくことも、患者数が増えている原因の一つといえます。主な原因としては、気圧の変化。変化は急なほど症状が強くなります。主に不調を訴えるのは気圧が低下するときですが、中には気圧が上昇する時に不調を訴える人もいます。気圧が変化すると、人間の体はストレスを感じるため、それに抵抗しようと経が活性化されます。

自律神経系には、交感神経と副交感神経があり、交感神経は血管を収縮させ、心拍数を上げて体を興奮させる働きがあります。一方、副交感神経は血管を広げて体をリラックスさせる働きがあります。この交感神経と副交感神経の調整がうまくいかないと、さまざまな体調不良の原因となってしまうのです。特に症状が出やすい季節は、低気圧が定期的に通過する春や秋、梅雨時、そして台風が日本付近に接近する晩夏から秋にかけて。冬に低気圧が日本の南岸を通過すると、太平洋側に雪が降ることがありますが、このときに症状を訴える人もいます。これは上空にある寒気 の存在もかかわっているようです。

7月から9月までのサテライトの実績

	7月	8月	9月
新規求職者数	12	7	1
相談・支援件数	335	211	261
職業準備訓練及び 職場実習のあっせん件数	3	3	4
就職件数	2	2	1
職場訪問による 定着支援件数	72	32	42
発達障がい者支援 コンシェルジュ活動件数	68	44	63
精神障がい者支援 活動件数	36	48	54

陶技学園相談支援センター

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉105号室
TEL :0572-26-7551

福祉サービスの利用に関する相談だけでなく、様々なご相談に対応致します。障害種別を問わず必要に応じて訪問相談も可能です。お気軽にお問い合わせください。

基幹相談支援センター設置

平成31年4月1日、東濃5市と6箇所の委託相談事業が共同で基幹相談支援センターを1箇所設置しました。当センターも委託相談事業所として、その一翼を担っています。基幹相談支援センターが皆様に周知され、地域にとって必要な機関となること、東濃圏域が誰にとっても暮らしやすい地域であることを目指しています。

vol.41 2019年/10月 発行
東濃障がい者総合支援センターとうぎ
陶技学園相談支援センター
東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト
居宅支援センターとうぎ



JR小泉駅より北西に徒歩2分

陶技学園相談支援センター
東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト



居宅支援センターとうぎ

多治見市姫町2-2 TEL :0572-29-5421

居宅支援センターとうぎでは、地域で生活する障がいをお持ちの方の支援をさせていただいております。家事援助や買い物への移動支援、行動援護なども行っております。

